

人と魚と海のネットワーク
香川県漁連ホームページ
<http://www.jf-net.ne.jp/kagyoren/>



JF 高松市北浜町8-25
TEL 087-825-0350
FAX 087-851-0699
JF香川漁連

ノリ着業検討会開催

香川県海苔養殖研究会(会長 西口正弘)は、9月2日(金)漁連会館6階大会議室で平成28年度ノリ着業検討会を開催しました。



挨拶する西口会長

本検討会は、毎年新漁期を迎えるに当たって、ノリ養殖業の安定と品質向上及び経営の合理化を目的に、ノリ養殖指導指針や酸処理剤の取扱要領並びに乾海苔共販対策等を直接生産者に周知するため、関係機関の協力のもと毎年開催しています。

検討会では「平成28年度ノリ養殖指導指針について」、「平成28年度酸処理剤の取り扱い要領について」、「平成28年度水温・栄養塩の動向について」の説明が行われました。

また、検討会終了後、香川県海苔養殖研究会副会長 山本富夫氏を講師に迎え、食害対策についての講演会が行われました。



山本氏の講演の様子

海浜清掃事業

(一社)香川県水産振興協会は、海浜等に漂着しているゴミ類を回収し、一般県民や住民に「海をきれいにする運動」に積極的に参加するよう啓発するという目的で、9月3日～25日の日程で県内の各地先において、海浜清掃を実施しました。漁協の組合員やその家族を中心に一部自治会やボランティアも参加し、海浜に漂着しているゴミを回収しました。

ゴミの種類として、近年はペットボトルやプラスチック容器などの腐らないゴミが増えています。

この事業は平成14年度から県が主催している、一般県民などによる海岸清掃活動「さぬき瀬戸クリーンリレー2016」への参加という形で行っています。



東讃地区での海浜清掃

オリーブハマチ試食会

9月12日(月)、オリーブハマチ管理委員会とさぬき海の幸販売促進協議会によってオリーブハマチ試食会が漁連会館4階第1会議室にて開催されました。

この試食会は県内で生産したオリーブハマチを試食し、「オリーブハマチ」というブランド魚として出荷できるかを判断する目的で毎年開催されています。生産者の他、香川県水産課や漁連職員も参加し、今年のオリーブハマチを試食しました。



試食会の様子

引田、庵治、直島の三ヶ所で生産されたオリーブハマチと、比較用の養殖ハマチを刺身として試食を行いました。試食後に記入するアンケートには脂の濃さやうま味等4つの評価項目が設定され、参加者は熱心に評価を行っていました。

参加者からは「どの地区のオリーブハマチも非常においしかった」と好評で、その他にも「年代によって好みの差がある」「生産者が興味を持ってオリーブハマチの味の確認をして出荷するのはよいことだと考える」などの意見がありました。

生産者からは「この場にいる生産者だけでなく、年齢性別のばらつきがある消費者の意見を取り入れるために、イベント形式で一般の方々に食べていただく場があればよいのではないか」という提案がありました。

ノリ採苗開始

平成28年度のノリ人工採苗が本会多度津のり種苗センターにおいて、9月23日(金)より始まりました。



今夏は、猛暑が続いたため、ノリ生産への影響も懸念されましたが、9月中旬の台風通過以降は気温水温ともに、例年より若干高いものの問題ない温度まで下がっています。

本年度は10月15日(土)までに約4万4千反の採苗を予定しています。



採苗の様子

平成29年度予算要望

9月27日(火)に香川県知事、香川県議会宛に平成29年度の予算編成に関する要望を行いました。県漁連・信漁連からは両連の会長である服部会長、県漁連からは小濱専務、信漁連からは武内専務、かん水組合からは嶋野組合長、海苔研からは西口会長が出席されました。



浜田県知事に要望書を渡す服部会長

漁連、信漁連の要望については下記の通りです。

- 1、漁船漁業対策に関する要望
- 2、養殖漁業の振興に関する要望
- 3、県産水産物の流通・販売促進に関する要望
- 4、漁業後継者育成及び漁協組織の強化に関する要望
- 5、漁場環境の保全に関する要望
- 6、防災対策に関する要望



漁青連研修会

9月10日(土)漁連会館6階大会議室にて香川県漁協青壮年部連絡協議会の研修会が開催されました。

本研修会は、会員漁協青壮年部及び青年漁業士の知識向上や意見交換を目的とし、今回は青壮年部員16名を含む31名が参加しました。

漁青連 岡健太会長の挨拶の後、岡山県漁青連 岡耕作監事より「魚価向上・販売促進の取組」というテーマで講演が行われました。組合経営の改善のため、①直売所の設置、②出荷体制の見直し、③タコ漁師レスラーの取組の3つの取組を行い、それぞれの概要や効果について説明がありました。



岡耕作氏による講演

その後、香川県水産試験場 安部昌明主席研究員より「放流効果をどのように考えるか」の講演が行われました。安部主席研究員は放流効果の有無を何によって判断するかについて、漁獲量、一日一隻当たり漁獲量等、混入率、回収率、費用対効果、再生産効果の6つの指標を用いての説明がありました。

第36回全国豊かな海づくり大会開催

9月10日(土)、11日(日)の両日、天皇・皇后両陛下をお迎えし、山形県において「森と川から海へつなぐ 生命のリレー」を大会テーマに、第36回全国豊かな海づくり大会が開催されました。

舞台は、山形県沿岸の鶴岡市、酒田市がメイン会場となりました。式典では両陛下ご臨席のもと、衆院議長を務める大島理森全国豊かな海づくり大会会長が「山形では厳しさを増す環境の中でも稚魚放流、河川清掃、魚食普及などに積極的に取り組んでいる」

と紹介をされ、続いて吉村美栄子山形県知事が「森・川・海環境を大切に守り育てる活動が、山形から全国に広がることを願う」と述べられました。そして、JF全漁連会長の岸宏大会推進委員会会長が「豊かな海を育て、環境と生態系の保全に努めていく」と大会決議文を読み上げると、満場の拍手で採択されました。

式典終了後は、鶴岡市の鼠ヶ関港で海上歓迎・放流行事が行われました。郷土に伝わる太鼓と踊りでの歓迎や、地域を代表する5つの漁業種の漁船によるパレードが行われ、続いて稚魚の放流では、天皇・皇后両陛下が、ヒラメ、アワビ、クロダイ、トラフグの稚魚をそれぞれ海に放たれました。

第37回大会は10月28日(土)～29日(日)に福岡県での開催を予定しています。

秋のイベント予定

10月7日(金)

オリーブハマチの試食イベントが県内各地の食品量販店などで行われます。

10月8日(土)

粟島にてオリーブハマチの試食イベントが開催されます。試食のほかにグッズ販売やパネル等の展示が併設されます。

10月10日(月)

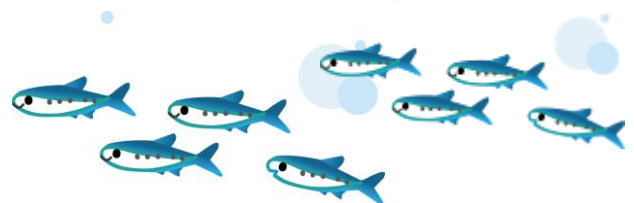
サンメッセ香川にてかがわ食育・地産地消フェスタが開催されます。伊吹イリコの販売を実施します。

10月22日(土)

直島にてなごしま環境フェスタが開催されます。ブース内ではなごしまハマチの試食やビンゴ大会を実施します。

10月23日(日)

高松市中央卸売市場にてたかまつ市場フェスタが開催されます。オリーブハマチや香川県産海苔、伊吹イリコの試食を行います。





こんにちは 坂出税関です

1. 密輸情報提供のお願い！！

麻薬・けん銃などの密輸情報は坂出税関支署へ

税関では、国民生活の安全・安心を脅かす麻薬・覚醒剤等の不正薬物、けん銃等の国内への流入を水際で阻止するため、積極的な取締りを実施しています。日常業務等において、「おかしげな?」と思うことがありましたら、どんな小さな情報でも、坂出税関支署、又は最寄りの税関出張所、若しくは24時間対応の密輸フリーダイヤル(0120-461-961)まで通報していただきますようご協力をお願いします。皆様からの小さな情報ひとつひとつが、香川県の安全につながります。

『おかしげな?』と思われる例

- ・漁具を積まずに出港したり、シケの日や夜間に出入りする等不審な行動をとる船舶を見かけたとき
- ・何か貨物が入っているような漂流物・漂着物を見つけたとき
- ・外国の船と頻繁に無線で交信をとっているあるいは沖合に向かって信号を送っている船を見かけたとき
- ・外国の船と接触している漁船やプレジャーボートを見たとき



2. 漁港に陸揚げされた覚醒剤を摘発！！

平成28年2月、暴力団関係者等が東シナ海の公海上において船籍不詳の船舶から受け取り、鹿児島県徳之島の漁港に陸揚げされた

- ・覚醒剤 約100キログラムを摘発しました。



陸揚げされた覚醒剤

3. ヨットから覚醒剤を摘発！！

平成28年5月、那覇港に入港した外国籍のヨットから

- ・覚醒剤 約597キログラム
 - ・麻薬であるケタミン 約631グラム
- 等を摘発しました。



覚醒剤等を隠匿していたヨット



摘発された覚醒剤等

密輸フリーダイヤル **0120-461-961** (24時間365日受付)

【坂出税関支署】	0877-44-9211	坂出市入船町1-6-10
【高松出張所】	087-851-2874	高松市朝日新町1-30
【丸亀出張所】	0877-23-7696	丸亀市蓬萊町32-1
【詫間出張所】	0875-83-3071	三豊市詫間町詫間1338-13